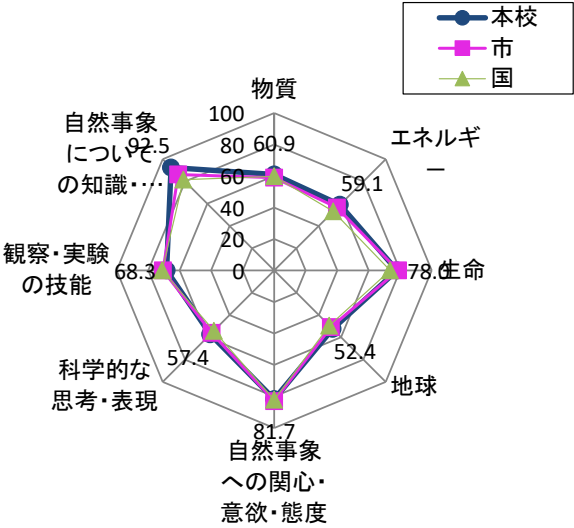


宇都宮市立宝木小学校第6学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【理科】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	物質	60.9	59.0	59.8
	エネルギー	59.1	56.4	53.1
	生命	78.0	78.6	73.6
	地球	52.4	50.9	49.5
観点	自然事象への関心・意欲・態度	81.7	82.9	82.1
	科学的な思考・表現	57.4	56.1	54.1
	観察・実験の技能	68.3	70.6	71.1
	自然事象についての知識・理解	92.5	86.2	81.5



★指導の工夫と改善

84

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質	平均正答率は、全国の平均とほぼ同じである。 ○食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ問題の平均正答率は、全国の平均を10.5ポイント上回っている。 ●食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く問題の平均正答率は、全国の平均を6.5ポイント下回っている。	・実験や観察の際には、めあてに正対した考察やまとめを意識させる。また条件に合う結論の書き方についても国語の学習と関連させながら指導していく。
エネルギー	平均正答率は、全国の平均と比べて高い。 ○目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせた箱の中での光電池の適切な位置や向きを選ぶ問題の平均正答率は、全国の平均を11.3ポイント上回っている。 ●回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ問題の平均正答率は、全国の平均とほぼ同じであった。	・実験結果を基にして、より妥当な考えに改善することができるよう、実験から得られた結果と予想を照らし合わせて考えられるよう指導していく。
生命	平均正答率は、全国の平均と比べて高い。 ○腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く問題の正答率は、全国平均より11.9ポイント高く、90%以上の正答率であった。 ●野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ問題の正答率は全国平均とほぼ同じであった。	・実験や観察をする際には、自他の安全の確保に十分留意するよう指導を継続していく。また、野外においては自然や生物を愛護する態度をもって観察できるよう指導していく。
地球	平均正答率は、全国の平均と比べて高い。 ○流されてきた土や石を積みらせる水の働きを表す言葉を選ぶ問題の平均正答率は、全国の平均を10.1ポイント上回っており、90%以上の正答率であった。 ●上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側の水位の変化から、上流側の天気と下流側の水位の変化について言えることを選ぶ問題の平均正答率は、全国の平均をやや下回っている。	・授業中の観察や実験から得られたデータから分析したことを児童の生活経験によせて考えさせることで、より具体的に事象について理解できるように指導していく。また、複数の情報を関連付けながら分析し、考察できるような発展問題の経験を多く積ませたい。